



## 『国歌を高らかに』(1月11日)を振り返って・・・

2015年のラグビーワールドカップでは、日本代表が優勝候補にあげられていた南アフリカ代表に、歴史的な勝利を挙げた。そのとき日本代表のキャプテンをしていたのが、リーチ・マイケル選手でした。ニュージーランド人の父親と、フィジー人の母親の間に生まれたマイケル選手は、中学生のとき出会った日本人の高校生との縁から、15歳の時に来日し、ラグビーに勵みながら日本国籍を取得し、日本代表入りしました。

ラグビーワールドカップの日本代表には様々な国籍、人種、民族の選手がいましたが、それぞれが日本代表として誇りを持ち、「君が代」を大きな声で高らかに思いを込めて歌いました。国や学校など自分が所属している集団への親しみや愛情を深め、その一員として誇りや自覚を持った行動ができるようになるにはどうしたらいいのか考えました。

<みんなの感想より>

- 国歌は、スポーツの開幕戦やオリンピックで1位になったりするときに流れるけど、意味としてはあまり知らなかつた。でも、ラグビーの日本代表選手が意味を語ったときは、「これをつくった人はすごい」と思った。日本の国歌だって、日本での曲だし、双ヶ丘中学校の校歌も双ヶ丘中学校のものであるから誇りを持っていきたいと思った。(女子)
- 国歌に誇りを持てるのは、本当にその国を愛しているからだと思うので、出身国は違うけど国歌を歌っているチームの人たちを見て感動しました。(男子)
- 自分の学校、自分の国を誇りに思える人になりたいと思った。海外出身の方が日本のこと理解していて、日本のことと誇りに思っていてくれて、うれしいと思った。また、このような気持ちに思ってくれる人がいる日本はすごいと思った。(女子)
- 国歌にはいろいろな意味があって、それを思って歌うことが大切だということが分かった。日本だったら、わたしは戦争で亡くなった人を思い歌うし、もし国籍をかえ他の国の国歌を歌うことになったらしっかり意味を考え歌いたい。国歌は、国を思って歌うことが大切なので、これからはちゃんと考えて歌いたい。(女子)
- 僕はリーチ選手やホラニ選手はとてもすごいと思います。理由は15歳で来日して日本国籍を取得してまでラグビーをしようとする心構えがとてもすごいと思いました。僕だったら、外国の国籍を取得してまで、やりたいと思うのは厳しいと思います。だけど、リーチさんやホラニさんのようにラグビーで「世界に出るんだ」と夢を持つことは、すごいと思いました。リーチさんやホラニさんには、日本代表のラグビー選手として、オリンピックで勝ってもらいたいです。(男子)
- 今日の授業でわたしは、ラグビー選手が国のために代表として努力するように、自分もクラスのために努力したいと思いました。ラグビー日本代表が出身のばらばらの選手が多いようにクラスにもいろいろな人がいる。その中でも団結できるのは、全員に共通する大切なことがあるからだと思う。わたしはその大切なものを3月までに見つけたいと思います。(女子)
- たとえ出身が日本ではなくても、国歌を歌う権利はあると思うし、日本を好きになってくれる人がいるのはうれしいと思いました。国歌を歌うときは国民みんなが一つになれるときだと思うので、私は国歌を大切にしようと思いました。(女子)
- 初めて国歌について考えました。意味なども初めて知って、こんなにも深い意味があったんだなと思いました。意味を知って改めて聞くと、なんか違った感じがしました。(男子)
- ビデオを見て、リーチ選手は外国に生まれているけど、日本を背負って国歌を歌っているところに驚いた。自分は中学校に入る前から国歌をしっかり歌っているけど、そんなに理解はできていないと気づけた。今後意識して歌いたい。自分にたとえて考えてみると、クラスのメンバーとして、これからも大事にしていくことを、自分自身守っていきたいと思いました。(女子)